

夏季芝地の除草剤試験など報告

日栄商事

日栄商事（本社・金沢市、中村哲郎代表取締役社長）は20日、第40回芝草勉強会を金沢市の石川県地場産業振興センター本館大ホールで開いた。

らゴルフ場や公園、道路・河川といった緑地等の芝草の維持管理に携わる事業者約210人が参加。冒頭、中村社長が今回の勉強会の講師やプログラム内容について紹介

後、「本日の勉強会が実り良きものとなり、今年が能登の本格的な復興が力強く前進する年になることを心から願う」とあいさつした。

きかったが、芝生が黄色くなったり枯れることはなかった」と述べ、高温時の除草剤の芝生への影響は見られなかったと報告。さらに、雑草のヤハズノウが試験区に一部生えてたことから除草剤を散布して経過を観察。約1カ月後には雑草の密度が低下し、約2カ月後にはほとんど枯死してなくなった。このほか、4つの食材菌を主原料とする発酵資材の新製品なども紹介した。

植物によって地面を覆うことで日陰となり、雑草を衰弱させるマルチングと、植物が放出する化学物質で雑草種子の発芽を抑制するアレロパシーの2タイプを説明。これら効果を活用した芝草と景観用植物を利用した雑草管理と採用事例、注意点などについて解説した。

ルフビジネスが今後発展していくためのアプローチなど示唆に富んだ話題を提供した。



北陸3県から約210人が参加した勉強会。金沢

第40回芝草勉強会を開催

続いて講演に移り、日栄商事農事部技術普及課の増愛里沙氏が「夏季の芝地における除草剤試験報告」と題して講演。試験は茎葉処理剤の夏季散布における除草効果と芝生への影響について考察するもので、芝地に6つの1坪×1坪の試験区を設け、霧吹きで各種除草剤を水量1平方坪当たり200ミリ散布し、昨年7月11日から9月4日までの経過を観察。その結果、増氏は「どの試験区も雑草に対する変化は大

きかったが、芝生が黄色くなったり枯れることはなかった」と述べ、高温時の除草剤の芝生への影響は見られなかったと報告。さらに、雑草のヤハズノウが試験区に一部生えてたことから除草剤を散布して経過を観察。約1カ月後には雑草の密度が低下し、約2カ月後にはほとんど枯死してなくなった。このほか、4つの食材菌を主原料とする発酵資材の新製品なども紹介した。

最後に、第40回の勉強会を記念してプロゴルフアードでゴルフ解説者のタケ小山氏が「屋根裏のプロゴルフアードタケ小山」が語る『世界のゴルフとスポーツビジネス』と題して基調講演。渡米してプロゴルフアードやゴルフコースの管理などに携わった経験から日米ゴルフ業界の違いや、日本のゴ